

九州が
コンコ
建福岡市と意見交換

納期平準化など議論

表彰制度対象拡大求める

（一社）建設コンサル
タツコ協九州支部（田
中清支部長）は9日、福
岡市と意見交換会Ⅱ写真
Ⅱを開き、納期の平準化
や条件明示チェックシ
ートの活用目的などにつ

いて議論を交わした。こ
のうち納期について市側
は、今年度、建コン協の
目標と同じく第4四半
期・40%以下とする数値
を設定していることを説
明。目標達成は厳しい状
況にあるとしながらも、

9日の福岡市との意見
交換会には、建コン協九
州支部から田中支部長や
中川裕副支部長のほか、
支部理事や地元会員ら
が出席。市側は財政局技
術監理部の黒田寛部長

のほか、財政局や道路下
水道局、港湾空港局、水
道局の関係課長らが対応
した。

意見交換のテーマは、
各県共通の①担い手確保
等の環境整備②技術力に
よる選定③品質の確保・
向上に係る項目のほか、
福岡市への個別提案で
ある▽業務成績評定通知
書の拡大▽表彰制度（の
対象者の拡大）等につ

いて。
このうち業務成績評価
制度については、その運
用基準を確認。国の要領
に準じて制度を運用して
いるとする市の説明に対
して、

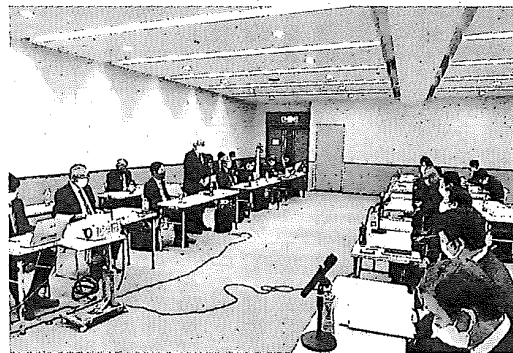
また表彰制
度の項目で
は、建コン協
が受賞者が
拡大するよう
な制度の改定
を要望した。

一方で業務
表彰は、業務
成績評価を基
に対象者を輩
出しているた
め、成績評価
の対象業務自

このほか環境整備の項
目では、建コン協が新型
コロナ対策だけでなく、
業務の効率化等の観点か
ら、打ち合わせ等におけ
るWEB会議の積極的な
導入を要望。市も、職員
にタブレットPCを配布
しているなど、既に整っ
ているとし、受注者側か
らの要望があれば対応可
能であると応じた。

技術力の選定に係る項
目では、建コン協が従来
から求めている総合評価
方式の拡大の事項に関連
し、ガイドラインの有無
について確認。市から
は、現段階で作成してい
ないとの回答であつ
たため、導入拡大を図っ
ている佐賀県の事例を紹
介した。

体が増加すれば、表彰者
も増える可能性がある。
このため田中支部長らは
意見交換後の会見で、改
めて成績評価の対象業
務の拡大に向けて、市の
理解が得られるよう取
り組んでいく意向を示
した。



意見交換会の様子。建コン協九州支部と福岡市との意見交換会が開かれ、関係者らが参加している。